

門真子どもを守る市民の会 例会

高校生の社会参加を通して主権者教育を考える

日中韓の高校生が歴史を学び、東アジアの平和な未来を語りあった

学び、交流、友情、絆、成長、未来

東アジア青少年歴史体験キャンプで高校生は何を学んだか

今回で16回目となる東アジア青少年歴史体験キャンプ。歴史を学び合い、文化の違いや共通性を発見し、アジアの隣人として絆を深めることができるのか、難しい問題に高校生たちが立ち向かっています。前回の北海道に続き今回は韓国ソウルで「戦争と女性の人権/民主主義」をテーマに見学や講義、意見交流など多彩な活動に取り組みました。日中韓それぞれの立場を越えて高校生たちはどのようにコミュニケーションし、友情を深めることができたか、何を学んだか、高校生が語ります。18歳選挙権の実現を機に本物の主権者教育とは何か問われています。一緒に考えてみませんか。

日時：3月17日（土）午後2時～4時

会場：門真ルミエールホール研修室（3階）

報告：私立高校2年生ほか ※参加無料



門真子どもを守る市民の会とは… 母親や市民、文化団体、教職員や保育士らが集まって門真の教育環境をよくするために学習や申し入れ行動などに取り組んでいます。大学や高校と連携してエイズ啓発に取り組んだり、昨年からはこども食堂にも取り組んでいます。どなたでも参加できます。一緒に考え行動しませんか。 連絡先：090-5968-5280（石原）へ